



取締役
齋藤 修
生産機構総括

社外取締役
瀧野 裕之

社外取締役
山田 恒太郎

取締役
一関 昌文
事業機構総括
顔料事業部、化成品事業部、合樹・着材第1事業部、
新規事業開発本部、グラフィック事業部、
オフセットインキ事業部担当

常務取締役
小城 義尚
技術機構総括

代表取締役社長
高橋 弘二
業務推進室、社長室、秘書室、内部監査室、
特定事業企画室、CSR・リスク管理推進本部担当
最高情報セキュリティ責任者

常務取締役
廣田 恵司
推進機構総括
総務・人事本部、広報本部、購買本部、
海外事業本部担当



社外監査役
伊東 君男

監査役
川田 勝久

監査役
蒲生 善郎

社外監査役
佐藤 幸平

CONTENTS

役員紹介／CONTENTS	01
トップメッセージ／企業理念	03
私たちが大切にしてきたもの	05
価値創造プロセス／経営方針・経営指標	07
事業部紹介	09
研究開発部門紹介	13
CSRとマネジメント／大日精化グループのCSR	15
CSRとマネジメント／CSR活動評価と次年度目標	17
コーポレート・ガバナンス	19
社会性報告／お客様とのかかわり	21
社会性報告／人材育成・活用	25
社会性報告／社会とのかかわり	27
環境性報告／環境マネジメント	29
環境性報告／環境管理活動評価と次年度目標	31
会社概要／連結決算ハイライト／株式基本情報	33
グループネットワーク	34

03 トップメッセージ

この難局を乗り越え、さらなる発展を目指して、グループ一丸となって挑戦していきます。

代表取締役社長
高橋弘二

25 人材育成・活用

言葉の不安を乗り越え、コミュニケーションのチャンネルとして貢献

Webサイトのご案内

より詳しい企業情報、IR情報、CSR活動に関する情報は、Webサイトで報告しています。



大日精化工業コーポレートサイト
<http://daicolor.co.jp/>

IR情報
<http://daicolor.co.jp/ir/index.html>

CSR活動
<http://daicolor.co.jp/csr/index.html>

編集方針

当社は2005年度から「環境報告書」を、2010年度から「社会・環境報告書」を発行してきました。2013年度からは会社案内の機能を追加して「コーポレートレポート」と改称しました。本レポートはステークホルダーの皆様へ、当社グループの事業内容とともに、社会性活動及び環境管理活動に対する考え方と取り組みをわかりやすくお伝えできるように作成しています。

コミュニケーションツールのご案内

Corporate Profile

製品案内2019-2020



- **報告対象範囲** 当社及び当社グループを対象としています。環境性報告は当社及び当社国内グループの実績を掲載しています。
- **報告対象期間** 2019年4月1日～2020年3月31日
※ただし、一部事例については、本対象期間外の活動も含みます。
- **参考ガイドライン** 環境省「環境報告書ガイドライン2012年度版」

この難局を乗り越え、さらなる発展を目指して、グループ一丸となって挑戦していきます。

代表取締役社長 **高橋弘二**



新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになられた皆様のご冥福を心よりお祈りするとともに、罹患された方々とそのご家族及び関係者の方々にお見舞い申し上げます。また、医療の最前線で感染拡大防止のためにご尽力されている皆様、ライフラインや日常生活維持など社会を支えていただく企業・団体の皆様に心から敬意を表し、感謝申し上げます。

今年は米中貿易摩擦の影響が色濃く残るなか、新型コロナウイルス感染症が世界で拡大し、経済的にも厳しい状況に置かれています。当社は不況に強い事業ポートフォリオを持っていると自負していましたが、2020年3月期決算に表れているように、非常に厳しい環境にあります。

日本に目を移すと、4月に緊急事態宣言が行われ、約2ヶ月にわたる自粛を通して、日本人の精神的な強さを感じました。生活様式も働き方も大きく変えることを求められましたが、それを柔軟に受け入れ、上手に活用する人も出ています。

一方、この状況がいつまで続くかは見通せません。ワクチンが完成するには1年半程度はかかるとも言われており、治療薬はさらにその先まで待たなければならないのかもしれない。では、安全に生活できる環境が整ったときに、いままでの生活様式や働き方、価値観が元に戻るかというとそうではないと考えています。このことは大きくビジネスに影響を与えるものであり、ピンチではありますが、チャンスでもあります。「新しい生活様式」が求められ、その需要構造にも大きな変化があるはず。単に悲観的になるのではなく、今なにができるのか、これからなにをすべきなのかを突き詰めて考えることが必要です。世の中の指向の変化を捉え、新し

いビジネスを創出し、成長につなげるチャンスとして、グループ一丸となって対応していきます。

■ 次の世代につなぐために大切なものとは

厳しい経済環境のもとでは、CSR（企業がなすべき社会への対応）やSDGs（持続可能な開発目標）などの考えやその実行が疎かになると言われます。V字回復を目指すばかりに、目先のことに注目しがちになり、忘れられるものも多かったのかもしれませんが、この時代は業績だけではよりよいレピュテーションは得られません。当社の企業理念にある「未来に興味を持つ」の「未来」は先人から受け継いだものを自分たちがよりよく変えて、それを次世代の人たちに、ひいては子供たち、あるいはその次の世代につなぐものです。その未来につなぐためには、需要構造が変わるいまこそ、SDGsを念頭に置いたものづくり、社会の課題解決に貢献するものづくりを忘れてはなりません。当社でも今一度、SDGsの原点に立ち返り、ビジネスのあり方を見つめ直し、新しい発想を持って、来年の90周年、次の100周年に向けた事業活動に取り組んでいきます。

■ コーポレートレポートについて

本レポートは社会性活動や環境管理活動などの非財務情報も掲載し、当社グループが中長期的に付き合うことができる企業であることをお伝えするものです。

皆様にぜひご一読いただき、忌憚のないご意見ご感想をいただきますよう、お願いいたします。

2020年9月

2016年1月改定

- 企業理念**
- ◎ 人に興味を持つ
 - ◎ 新しいことに興味を持つ
 - ◎ 未来に興味を持つ

行動指針 人間は面白い。
その面白い人間が作っているのが企業であり、また顧客です。全ての経済原則、経営理論は、人の行動原理に基本があります。人に興味を持つ。

新しいことはワクワクする。
技術革新や商品開発は顧客や市場を開拓すると同時に、人間も活性化します。新しいことに興味を持つ。

未来を考えることは楽しい。
未来は子供たちのものです。
未来を考えれば、人も企業も自分だけでは生きていけないことが分かります。顧客の発展が無ければ、当社は富んでも長続きしません。
更に、社会に生かされなければ、人も企業も存続し得ません。
未来に興味を持つ。

一方、当社には1968年に制定した、社是〈必達〉があります。上記の企業理念と共に、歴史ある社是〈必達〉を、誇りを持って遵守しています。

社是 必達

私たちはカラーページを担う大日精化の社員として
〈必達〉の社是のもとに誇りを持って仕事をすすめよう

- 1、仕事は必ず目標を立て、これを必達しよう
- 1、正しい製品知識を身につけ、製品普及のチャンスを積極的に求めよう
- 1、仕事を通じ製品を通じて、会社の信用を更に高めよう
- 1、社会人として常に教養を高め、反省を深める機会を持つ
- 1、仕事を通じて社会に貢献し、大日精化を最高の企業体としよう